道 目授

実践の紹

複数種目 武道推進モデル校」事業を活用した (剣道 • なぎなた) の実践

和歌山県有田川町立金屋中学校がかります。 校長 髙垣 安弘

規模校となっている。生徒は温和で真面目で、明るく落ち着い 校として発足。平成18年、 指導の実践に取り組んだ。 部指導者と体育教員の連携による複数種目 支えられた学校である。 であり、 た雰囲気の中で学習や部活動に励んでいる。育友会活動は活発 広大となった一方、少子化の波は避けられず、現在は12名の小 中学校に変更となった。小中学校の休校・統合に伴い、校区が 本校は、昭和52年、近隣中学校が統合し、金屋町立金屋中学 保護者や地域の方は学校への協力をいとわず、 標記事業を活用し、 市町村合併に伴い (剣道・なぎなた) 地域に根ざした外 、有田川町立金屋 地域に



実践研究につ 剣道・なぎなた複数種目指導の いて

た、竹刀やなぎなたの操作方法で ぶ機会を設けることで、相手を尊 複数種目で学ばせることにより、 あったり、足さばき、体さばきを につながればと考えている。ま 学習させ、深い学びにつなげたい それぞれの競技の共通性や特色を 重し、豊かな心を持つ生徒の育成 剣道やなぎなたの指導において 武道特有の理念や心構えを学

態にあった計画を作成することが 元計画を作成した。それぞれの種 育教員は、 目の特性を十分加味し、生徒の実 全学年の剣道・なぎなた指導の単 するのは初めてであった。そこ たものの、剣道やなぎなたを指導 令和元年度に本校に着任した体 外部指導者と綿密に協議し、

できた。 柔道指導の経験はあっ

> それぞれの特性に気づかせながら 学ばせる。また、競技の共通点や

授業を展開し、 味を引き出し、単元の充実を図る。 武道への関心や興

3 指導の工夫

度を段階的に上げることで効果的 た。 に学ぶことができた。 刀で斬る指導 使った打ち方指導、④新聞紙を竹 全体指導、 きと体さばきを使って、竹刀の振 体さばきを指導し、学んだ足さば り方の指導をした後、 のはじめに、復習も兼ねて実施し ①効果的に指導するための工夫 り方指導を行った。その指導を① 剣道の立礼・座礼はほぼ毎時間 興味・関心を引き出し、 竹刀の持ち方と構え指導、 人形や新聞紙を使用すること ②個人指導、 -と段階的に行っ 足さばきと ③人形を 難易

指導方針の推進を後押してくれる

かすように」という言葉は、

学校

にして、これからの学校生活に生 法や相手を尊重する気持ちを大切 を振る適切な位置・タイミングを 練習をした。自分で考えて、 が生徒に話した「授業で培った礼 つかむのに有効であった。 剣道授業の最後に、外部指導者

道の関連性の気づきにつながれば 臨機応変に対応する力の育成や武 だ足さばき・体さばきを生かし、 重みのある言葉だった。 いいと考えた。 なぎなた指導では、剣道で学ん

教育活動の場において、安全

(2)生徒の安全を確保するための工夫

安心は必ず担保されなくてはな

127

他方が正しい振り方で打ち落とす 方が丸めた新聞紙を上方に投げ、

い代わりに、2人一組になり、

防具が無く、

対人練習ができな

実践研究のねらい

2

って、 理念や心構えを学習させる場を持 導内容を精選する、③武道特有の 担を模索する、 ①外部指導者を活用することによ [内における外部指導者からの指 ①教師との効果的な役割分 ②限られた単元計

操作方法、 数種目の武道指導を計画し、 ②剣道からなぎなたにつながる複 確立する一 の競技における竹刀やなぎなたの つ、④安全を確保した指導体制を 足さばきや体さばきを -ことを目指す。 個々

月刊「武道」 2020. 12

2020. 12 月刊「武道」

126

価格: 4,584 円 (税込)

129

CH深MP 商品のお問合せ・ご注文はこちらまで **113** 03-3315-3190

FAX 03-3312-8207

https://www.champ-shop.com

5

成果と課題につい

により、招聘することができた。導者を有田川町教育委員会の紹介 本校の 地の特徴を生かし、 がちである。今回、当事業を活用 式採用された体育教員の配置は珍 させていただき、 しく、配置された教員の経験など 本校のような小規模校では、 体育教員 授業の武道種目を決定し とともに武道授業 剣道の盛んな当 地域の外部指 正 あるが、 導者の確保が困難であった。し に取り組めた。本校には剣道部も (剣道) しこの事業を機に、

道クラブの指導者であり、地域の 授業における剣道指導が本校に根 信頼も厚く、 付く基盤を築くことができた。 剣道の外部指導者は、 生徒も安心して授業 地域の剣

を指導することで、

体育

専門的な技術を持った指 外部指導者の か て終了 ができた。 0) 体さばきを学び、 ことで生徒の意欲を引き出すこと 実際の指導では、 してからなぎなた指導を 剣道指導がすべ

た。 後携わっていただけることとなっ ご 厚意により、 部活動指導にも今

だき、 ことができた。 有名な外部指導者を派遣していた ない竹刀やなぎなたを使用する 県教育委員会より、 なぎなた指導については、 より専門的な指導を受ける 最初に剣道授業を行 普段使うこと 全国 足さばきや 一的にも 和歌

ことができた。なぎなたでは、 なぎなた)を学ぶことで、 ていただいた。 く、竹刀やなぎなたの振り方、 複数種目

で自発的にあ ナミックな指導方法が体育教員 動きを知り、深い学びにつなげる を深く学ぶことができた。 指導に生かされればと思う。 場を広く使った外部指導者のダ さばき、体さばきの理にかなった の共通点に自然と気づく生徒も多 くれた資料のおかげで、 さらに、 相手を尊重する武道の精神 外部指導者が作成して いさ うの できる生徒 礼儀を重 (剣道 これら 校内外 足 会 \mathcal{O} 1

複数種目指導モデルの単元計画

9 種目 なぎなた 剣道 導入(あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の学習の見通し) 剣道授業は、令和元年 準備運動 度より実施しており、基 オリ をを表す。 本動作や足さばき、体さ エンテーシ 基本動作の練習 ばきなどの基本的な内 容と対人的技能の練習 学習の 学習のまとめ 一足さばき 対人的技能の練 で、全学年同一の内容と 足さばきの練習 した。 流れ ン また、なぎなた授業 竹刀操作の練習 まとめ の 体さばき は、2時間で基本動作と (剣道) 体さばきの練習 足さばきや体さばき、対 人的技能を体験できる 内容とした。 整理(整理体操、本時の振り返り、次時の連絡、 あいさつ)

安全面に配慮した。 生徒もともに学べるよ 員を配置し、 より配属された学校支援 の生徒など支援を要する 有田川 町教育委員会 できるだけ

さらに、

特別支援学級

前もっ 使い、 外部指導者の立ち位置を 全に取り組める工夫をし した。 届くように、 始線や中心を設け、 ンテープ等を活用 操作するにあたり、 生徒に説明する場を設定 からは授業全体につい の接触や また、 それぞれ注意事項を 指導者の目が行き 竹刀・なぎなたを て確認してお け 体育館全面を がを避けて安 体育教員 し ライ 生徒 て開 65 Oじて、

性をより深く学べたようである。 移行したことにより、 が終わったあと、 とができたようである。 足さばき、体さばきを理解するこ 竹刀やなぎなたの正しい持ち方や 生徒は武道授業を通じて、

指導者より安全な運動の 仕方について、 ンテーショ ンにて、 体育教員 外部

は オ IJ

生徒の意識、 感想、 変容など

用している体育館や教員、 とができたようである。 すことを通して、 剣道・なぎなたの武道授業を通 生徒は礼儀や礼節を学ぶこ

後のあらゆる活動においても、 ることができた経験を生かし、 えた。また、気持ちよく剣道をす すことをためらわなくなり、 と前向きになれた生徒もいる 意見をはっきり言える生徒が増 武道の特性である大きな声 する敬意を学べたと思う。 しがらずに声を出 なぎなた授業に 自発的に声を出 共通点や特 していこう また、 剣道授業 相手に 概ね 自分 を出 恥 今 に比べ、 徒が多かった。 り対人練習をしてみたい

ある。 たを取るときや置くときは両膝を なたに共通点があること、 の共通点に自然と気づいたようで だと分かったことなど、 いて両手で行う動作は剣道と同 う言葉や動作など、 正座や中段のかまえ、 物を大切にする気持ちの表れ 剣道となぎ 自然体と なぎな

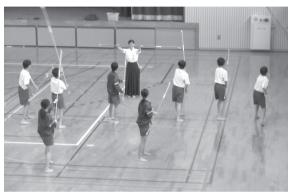
とき、 鎌倉時代からあることにも少し驚 しいと思ったことや、 いたようである。さらには、 また、 竹刀より重く、 初めてなぎなたを持った 長い なぎなたは ので難



<なぎなた>2人一組になっての面打ち指導



<剣道>竹刀操作の練習



<なぎなた>外部指導者による指導



<剣道>打ち込み人形を使っての対人的技能の練習



くなぎなた>一斉指導



<剣道>対人的技能の練習 (新聞紙斬り)

の充実を考え、 できなかった。 7 く必要がある。 していく必要がある 対人的な動きを学習することが また、防具等を含む備品は ない状況であり、 備品の整備を検討 今後、授業の 防具を付け が 揃え

続性のある指導計画を作成してい

それぞれの学年に適した、

要があると感じた。来年度以 取り組んで専門性を高めていく必

降

まう場面があったことだ。

研修に

員が生徒の安全管理に終始してし

課題としては、授業中、

体育教

打ち込み練習を実践することがで が した打ち込み人形を使って簡単 も増えた。 を設定してくれた。 できない中、 また、防具がないため対人練習 生徒が積極的に取り組める場 生徒の関心や興味を引き出 外部指導者が作成

2020. 12 月刊「武道|